

世界観「桃太郎」

金色老子

「桃太郎」手順1：物語を選定します 例：物語選定

「桃太郎」は昔話、桃太郎を元にした system を利用したRPGゲームです。

system同様「桃太郎」はGPLv2もしくはそれ以降及びGFDLを採用しています。

Text is available under GNU Free Documentation LicenseThe GNU General Public License



「桃太郎」は昔話、桃太郎を元にしたsystemを利用したRPGゲームです。

手順1：物語を選定します

systemはこのような、おとぎ話さえゲームにしてしまいます。

抽象的すぎる詩などはプレイすることが難しいかもしれませんが

ほとんど大丈夫なはずです。

話

昔々ある所におじいさんとおばあさんが住んでいました。

おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯へ行きました。

おばあさんが洗濯をしていると川上から大きな桃がどんぶらこどんぶらこと流れてきました。

おばあさんは桃を家に持ち帰りました。

おじいさんとおばあさんは桃を食べようとすると中から元気な子が生まれてきました。

おじいさんとおばあさんは子供がいなかったのでこの子供を育てることとしました。

桃から生まれたので桃太郎と名づけました。

桃太郎は見る見る大きくなりました。

ある日、鬼が悪さをしていると聞くと「鬼退治に出る」と言い出しました。

桃太郎はキビ団子を持って旅立ちました。

途中で犬が出てきました。

犬は「桃太郎さん。どこへ行くのですか？」と聞きました。

桃太郎は「鬼退治に行くのだ」と言いました。

犬は「キビ団子をくれたら家来になりましょう」と言いました。

桃太郎はキビ団子を与え犬を家来にしました。

同様にサル、キジを家来にして鬼が島に行きました。

鬼が島で犬、サル、キジの協力で鬼を倒しました。

そして

鬼が持っていた宝物を村に持ち帰り

幸せに暮らしましたとさ。

以上。

人により少し異なるかもしれませんが基本は、この流れだと思います。

それでは物語世界をsystem分解していきましょう。

丸括弧（ ）が分解した言葉

四角括弧「」が”テーマとテーマを固定するもの”となります。

手順2：system分解をする

”テーマとテーマを固定するもの”の分類の仕方は任意です。

・1（昔々ある所に）「歴史」

（おじいさんとおばあさんが住んでいました）「位置」

・2（おじいさんは芝刈りに）「家から離れる」

（山へ）「位置」

・3（おばあさんは洗濯へ行きました）「家から離れる」

（川へ）「位置」

・4（おばあさんが洗濯を）「作業」

（していると）「動作」

・5（大きな桃がどんぶらこどんぶらこと流れてきました）「接近」

（川上から）「位置」

・ 6（おばあさんは桃を）「食べ物」

（家に持ち帰りました）「家に近づく」

・ 7（おじいさんとおばあさんは桃を食べようとすると）「摂取」

（中から元気な子が生まれてきました）「誕生」

・ 8（おじいさんとおばあさんは子供がいなかったので）「不誕生」

（この子供を育てることとしました）「育成」

・ 9（桃から生まれたので）「由来」

（桃太郎と名づけました）「名づける」

・ 10（桃太郎は見る見る）「速い」

（大きくなりました）「成長」

・ 11（ある日、鬼が悪さをしている）「悪行」

（と聞くと「鬼退治に出る」と言い出しました）「対立宣言」

・ 12（桃太郎はキビ団子を持って）「食べ物」

（旅立ちました）「村から離れる」

・ 13（途中で）「村と鬼が島の間」

（犬が出てきました。）「出現」

・ 14（犬は「桃太郎さん。どこへ行くのですか？」）「質問」

（と聞きました。）「聞く」

・ 15（桃太郎は「鬼退治に行くのだ」）「回答」

（と言いました。）「発言」

・ 16（犬は「キビ団子をくれたら家来になりましょう」）「要求」

（と言いました。）「発言」

・ 17（桃太郎はキビ団子を与え）「譲渡」

（犬を家来にしました）「使役」

同様にサル、キジを家来にして鬼が島に行きました。

・18（鬼が島で犬、サル、キジの協力）「仲間との協力」

（で鬼を倒しました。）「敵を倒す」

そして

・19（鬼が持っていた宝物を）「敵の財宝」

（村に持ち帰り）「村に近づく」

幸せに暮らしましたとさ。

手順2の後：

このように計19の物語にsystem分解できました。

（省略したいものは飛ばしても良いです 「同様にサル、キジを家来にして鬼が島に行きました」「幸せに暮らしましたとさ」等）

”テーマとテーマを固定するもの”がゲームをしたくないものや

興味のないものになっていないでしょうか？問題があればここで修正します。

（今回は挑戦的に原作の物語雰囲気を残すことにしました）

関連:第一章 話の作り方 イベント表

「桃太郎」手順3：キャラクターと世界観の割合を認識する

手順3：キャラクターと世界観の割合を認識する

最終的に確認をしても良いのですが

キャラクターと世界観の割合を認識します。

プレイヤーキャラクターは

- ・おじいさん
- ・おばあさん
- ・桃太郎
- ・犬

と認識したとします。（もちろん任意です）

1名でもキャラクターが含まれているものを

キャラクターの物語と認識すれば（もちろん任意です）

Cと付けます。

ほかはWと付けます。

Cがキャラクター

Wが世界観です。

すると**15(キャラクター)対4（世界観）**

でキャラクターが強い世界だと分かりました。

別の言い方では

キャラクター**79**パーセント{**C1,C2,C3.C4,C6,C7,C8,C10,C12,C13,C14,C15,C16,C17,C18**}

世界観 **21**パーセント{**W5,W9,W11,W19**}

と言えます。

重要なのは表明していることなのです。

（デザイナーと**GM**、プレイヤー相互理解に重要です

コンベンションなどの一期一会等でも

表示すれば多くの方が今まで以上に世界観を理解しやすく有用でしょう）

・ C1（昔々ある所に）「歴史」

（おじいさんとおばあさんが住んでいました）「位置」

・ C2（おじいさんは芝刈りに）「家から離れる」

（山へ）「位置」

・ C3（おばあさんは洗濯へ行きました）「家から離れる」

（川へ）「位置」

・ C4（おばあさんが洗濯を）「作業」

（していると）「動作」

・ W5（大きな桃がどんぶらこどんぶらこと流れてきました）「接近」

（川上から）「位置」

・ C6（おばあさんは桃を）「食べ物」

（家に持ち帰りました）「家に近づく」

・ C7（おじいさんとおばあさんは桃を食べようとすると）「摂取」

（中から元気な子が生まれてきました）「誕生」

・ C8（おじいさんとおばあさんは子供がいなかったので）「不誕生」

（この子供を育てることとしました）「育成」

・ W9（桃から生まれたので）「由来」

（桃太郎と名づけました）「名づける」

・ C10（桃太郎は見る見る）「速い」

（大きくなりました）「成長」

・ W11（ある日、鬼が悪さをしている）「悪行」

（と聞くと「鬼退治に出る」と言い出しました）「対立宣言」

・ C12（桃太郎はキビ団子を持って）「食べ物」

（旅立ちました）「村から離れる」

・ C13（途中で）「村と鬼が島の間」

（犬が出てきました。）「出現」

・ C14（犬は「桃太郎さん。どこへ行くのですか？」）「質問」

（と聞きました。）「聞く」

・ C15（桃太郎は「鬼退治に行くのだ」）「回答」

（と言いました。）「発言」

・ C16（犬は「キビ団子をくれたら家来になりましょう」）「要求」

（と言いました。）「発言」

・ C17（桃太郎はキビ団子を与え）「譲渡」

（犬を家来にしました）「使役」

同様にサル、キジを家来にして鬼が島に行きました。

・ C18（鬼が島で犬、サル、キジの協力）「仲間との協力」

（で鬼を倒しました。）「敵を倒す」

そして

・ W19（鬼が持っていた宝物を）「敵の財宝」

（村に持ち帰り）「村に近づく」

幸せに暮らしましたとさ。

また、現在のキャラクターと世界観の割合も話のLVが下がれば
変わる場合もある。よりキャラクター的になったり、世界観的になったりする。
これも自由に調整可能である。

デザイナーが行うかGMが行うかは、どの程度、自由度にするかによって変わってくる。

関連：第九章 物語、システム、世界観、キャラクターの方向、配分

「桃太郎」手順4:キャラクターのイベント配分

「桃太郎」手順4:キャラクターのイベント配分

手順3で

プレイヤーキャラクターは

- ・おじいさん
- ・おばあさん
- ・桃太郎
- ・犬

としました。

各キャラクターの登場イベントは
計算すると

- ・おじいさん {C1,C2,C7.C8} 計4
- ・おばあさん {C1,C3,C4.C6,C7,C8} 計6
- ・桃太郎 {C10,C12,C15,C17,C18} 計5
- ・犬 {C13,C14,C16,C18} 計4

となります。

フェアに展開するため、
プレイヤー同士で分配します。

- ・おじいさん {C1,C2,C7.C8} 計4
- ・おばあさん {C1,C3,C4.C6,C7} 計5
- ・桃太郎 {C10,C12,C15,C17,C18} 計5
- ・犬 {C13,C14,C16,C18,C8} 計5

おばあさんのC8のイベントを
犬に追加しました。

さらに足りないイベントはGMが追加調整します。
最後のCから一番離れたWにします。

- ・おじいさん {C1,C2,C7.C8,W19} 計5
- ・おばあさん {C1,C3,C4.C6,C7,} 計5
- ・桃太郎 {C10,C12,C15,C17,C18} 計5

・犬 {C13,C14,C16,C18,C8} 計5

おじいさんにW19イベントを追加しました。

・C1（昔々ある所に）「歴史」

（おじいさんとおばあさんが住んでいました）「位置」

・C2（おじいさんは芝刈りに）「家から離れる」

（山へ）「位置」

・C3（おばあさんは洗濯へ行きました）「家から離れる」

（川へ）「位置」

・C4（おばあさんが洗濯を）「作業」

（していると）「動作」

・W5（大きな桃がどんぶらこどんぶらこと流れてきました）「接近」

（川上から）「位置」

・C6（おばあさんは桃を）「食べ物」

（家に持ち帰りました）「家に近づく」

・ C7（おじいさんとおばあさんは桃を食べようとすると）「摂取」

（中から元気な子が生まれてきました）「誕生」

・ C8（おじいさんとおばあさんは子供がいなかったので）「不誕生」

（この子供を育てることとしました）「育成」

・ W9（桃から生まれたので）「由来」

（桃太郎と名づけました）「名づける」

・ C10（桃太郎は見る見る）「速い」

（大きくなりました）「成長」

・ W11（ある日、鬼が悪さをしている）「悪行」

（と聞くと「鬼退治に出る」と言い出しました）「対立宣言」

・ C12（桃太郎はキビ団子を持って）「食べ物」

（旅立ちました）「村から離れる」

・ C13（途中で）「村と鬼が島の間」

（犬が出てきました。）「出現」

・ C14（犬は「桃太郎さん。どこへ行くのですか？」）「質問」

（と聞きました。）「聞く」

・ C15（桃太郎は「鬼退治に行くのだ」）「回答」

（と言いました。）「発言」

・ C16（犬は「キビ団子をくれたら家来にな리ましょう」）「要求」

（と言いました。）「発言」

・ C17（桃太郎はキビ団子を与え）「譲渡」

（犬を家来にしました）「使役」

同様にサル、キジを家来にして鬼が島に行きました。

・ C18（鬼が島で犬、サル、キジの協力）「仲間との協力」

（で鬼を倒しました。）「敵を倒す」

そして

・ W19（鬼が持っていた宝物を）「敵の財宝」

（村に持ち帰り）「村に近づく」

幸せに暮らしましたとさ。

このようにイベントの発生も個々平等で非常にフェアです。

関連：第九章 物語、システム、世界観、キャラクターの方向、配分

「桃太郎」手順5：判定範囲の分類

「桃太郎」手順5：判定範囲の分類

判定範囲を分類します。

「テーマ」を「テーマを固定するもの」で分けます。

＜判定範囲の分類＞

判定範囲を分類します。

- ・（テーマ）テーマを固定するもの=y(何番目判定範囲)

例：

- ・ (歴史)位置=y1

テーマ は「歴史」

テーマを固定するもの は「位置」

一つ目の判定範囲なのでy1とします。

読み方は「（歴史）を位置で固定するとy1となる」です。

（西洋式が好きならば「位置で固定する 歴史を するとy1となる」 です。

f(x)=y1と似ています）

--

C1・(歴史)位置=y1

C2,C3・(家から離れる)位置=y1

W5・(接近)位置=y1

（「歴史」を「位置」でテーマを固定するとyとなる ”西洋式が好きなら逆としてもよい
位置（歴史）=y

f(x)=yと似ています” 一つ目の判定範囲なのでy1とします

先頭に分かりやすく対象のC,Wの番号もつけています 以下同様に)

C4・(作業)動作=y2

C6・(食べ物)家に近づく=y3

C7・(摂取)誕生=y4

C8・(不誕生)育成=y5

W9・(由来)名付ける=y6

C10・(速い)成長=y7

W11・(悪行)対立宣言=y8

C12・(食べ物)村から離れる=y9

C13・(村と鬼が島の間)出現=y10

C14・(質問)聞く=y11

C15・(回答)発言=y12

C16・(要求)発言=y12

C17・(譲渡)使役=y13

C18・(仲間との協力)敵を倒す=y14

W19・(敵の財宝)村に近づく=y15

--

このように

判定範囲をまとめたため、実際の話より

判定の数は少なくなりました。(19から15へ)

関連：第七章 行為判定、成長

「桃太郎」手順6：判定範囲の拡張

「桃太郎」手順6：判定範囲の拡張

判定範囲を複数採用する場合、x、y軸だけでは足りないのでz軸の拡張を行います。

今回は判定が多いのでyは全てz軸に移行します。

判定が、ちょうど立体的になりました。

(もちろん判定が一つのような特化したゲームならこのz軸の拡張作業は飛ばして下さい)

C1・(歴史)位置=z1

C2,C3・(家から離れる)位置=z1

W5・(接近)位置=z1

C4・(作業)動作=z2

C6・(食べ物)家に近づく=z3

C7・(摂取)誕生=z4

C8・(不誕生)育成=z5

W9・(由来)名付ける=z6

C10・(速い)成長=z7

W11・(悪行)対立宣言=z8

C12・(食べ物)村から離れる=z9

C13・(村と鬼が島の間)出現=z10

C14・(質問)聞く=z11

C15・(回答)発言=z12

C16・(要求)発言=z12

C17・(譲渡)使役=z13

C18・(仲間との協力)敵を倒す=z14

W19・(敵の財宝)村に近づく=z15

--

関連：第七章 行為判定、成長

「桃太郎」手順7：判定の作成

判定を作ります。

1：物語方向の即興性、作家性の割合を決める

最初部分ですし雰囲気作りのため

即興性30パーセント

作家性70パーセント

と決めます。

物語方向調整方法として70パーセントは事前に配ります。

30パーセントはGM側に置きます。

2：システム方向の即興性、作家性の割合を決める

自由度もあると見せたいので

即興性60パーセント

作家性40パーセント

と決めます。

既に値が決まっているカードを40パーセント。

判定にぶれがあるサイコロを60パーセントにすることとします。

個別の判定に味付けをしたい場合、サイコロなどの判定に味付けします。

3：判定ごとのワールドガイドの作成

「場所」「時期」「話の区切り」「位置」の決定します。

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか

各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

＊登場人物は

- ・ おじいさん
- ・ おばあさん
- ・ 桃太郎
- ・ 犬

- ・ おじいさん {C1,C2,C7.C8,W19} 計5
- ・ おばあさん {C1,C3,C4.C6,C7,} 計5
- ・ 桃太郎 {C10,C12,C15,C17,C18} 計5
- ・ 犬 {C8,C13,C14,C16,C18} 計5

と決まっているので、ここで大まかに対応の {カテゴリ} を決めます。

おじいさん

村人力 {位置} = (歴史), (家から離れる)

村人力 {誕生} = (摂取)

おじいさん力 {育成} = (不誕生)

おじいさん力 {村に近づく} = (敵の財宝)

おばあさん

村人力 {位置} = (歴史), (家から離れる)

村人力 {誕生} = (摂取)

おばあさん力 {動作} = (作業)

おばあさん力 {家に近づく} =(食べ物)

桃太郎

桃太郎力 {結果} = (速い)

桃太郎力 {村から離れる} = (食べ物)

桃太郎力 {発言} = (回答)

桃太郎力 {使役} = (譲渡)

桃太郎一行力{敵を倒す}= (仲間との協力)

犬

犬力 {育成} =(不誕生)

犬力 {出現} = (村と鬼が島の間)

犬力 {聞く} = (質問)

犬力 {発言} =(要求)

桃太郎一行力{敵を倒す}= (仲間との協力)

これは設定を決めながら順次決定していきます。最初から決めてもいいし最後に決めてもいいです。カテゴリと取れるものが同じものはまとめるとよいです。おじいさんとおばあさんは村人なので {村人力} で統合しました。同様に桃太郎と犬は {桃太郎一行力} に統合しました。

z1では。

C1・(歴史)位置=z1

C2,C3・(家から離れる)位置=z1

*再度話を見ると

C1,C2ではおじいさん、

C1,C3では、おばあさんが関係します。

これにより

行動ポイント>障害ポイント：“位置”の変更完了=「位置」増加
障害ポイント>行動ポイント：“位置”の変更が出来ずに=「位置」減少

「位置」は{村人力}に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(歴史)、(家から離れる)は{村人力}に連動する。

6:効果の決定

{村人力}

増えると村人らしい(歴史)、(家から離れる)が取れる。

減ると村人らしい(歴史)、(家から離れる)が取れない。

>

*再度話を見ると

C4では、おばあさんが関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z2では。

C4・(作業)動作=z2

行動ポイント>障害ポイント：“動作”の完了=「動作」増加

障害ポイント>行動ポイント：“動作”出来ずに=「動作」減少

「動作」は {おばあさん力} に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(作業) は

{おばあさん力} に連動する。

6:効果の決定

{おばあさん力}

増えとおばあちゃんらしい(作業)取れる。

減るとおばあちゃんらしい(作業)取れない。

>

*再度話を見ると

C6では、おばあさんが関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z3では。

C6・(食べ物)家に近づく=z3

行動ポイント>障害ポイント：“家に近づく”こと完了=「家に近づく」増加

障害ポイント>行動ポイント：“家に近づく”こと出来ずに=「家に近づく」減少

「家に近づく」は {おばあさん力} に自由に振り分け可能

5:カテゴリと連動の決定

(食べ物) は

{おばあさん力} に連動する。

6:効果の決定

{おばあちゃん力}

増えると (食べ物) が取れる。

減ると (食べ物) が取れない。

>

*再度話を見ると

C7では、おばあさん、おじいさんが関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z4では。

$C7 \cdot (\text{摂取})\text{誕生} = z4$

行動ポイント>障害ポイント：“誕生”が完了=「誕生」増加

障害ポイント>行動ポイント：“誕生”が出来ずに=「誕生」減少

「誕生」は {村人力} に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(摂取) は

{村人力} に連動する。

6:効果の決定

{村人力}

増えると村人らしい(摂取)が取れる。

減ると村人らしい(摂取)が取れない。

>

*再度話を見ると

C8では、おじいさん、犬が関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか

各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z5では。

C8・(不誕生)育成=z5

行動ポイント>障害ポイント：「育成」の完了=「育成」増加

障害ポイント>行動ポイント：「育成」出来ずに＝「育成」減少

「育成」は {おじいさん力}、{犬力}に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

（不誕生）は

{おじいさん力}、{犬力}に連動する。

6:効果の決定

{おじいさん力}、{犬力}

増えると（不誕生）が取れる。

減ると（不誕生）が取れない。

>

*再度話を見ると

C10では桃太郎が関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z7では。

C10・(速い)結果=z7

行動ポイント>障害ポイント：完了=「結果」増加

障害ポイント>行動ポイント：出来ずに=「結果」減少

「結果」は {桃太郎力} に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(速い) は

{桃太郎力} に連動する。

6:効果の決定

{桃太郎力}

増えると(速い)が取れる。

減ると(速い)が取れない。

>

*再度話を見ると

C12では、桃太郎が関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z9では。

C12 ・ (食べ物)村から離れる=z9

行動ポイント>障害ポイント：完了=「村から離れる」増加
障害ポイント>行動ポイント：出来ずに=「村から離れる」減少

「村から離れる」は {桃太郎力} に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(食べ物) は

{桃太郎力} に連動する。

6:効果の決定

{桃太郎力}

増えると (食べ物) が取れる。

減ると (食べ物) が取れない。

>

*再度話を見ると

C13では犬が関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z10では。

C13・(村と鬼が島の間)出現=z10

行動ポイント>障害ポイント：完了=「出現」増加
障害ポイント>行動ポイント：出来ずに=「出現」減少

「出現」は{犬力}に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(村と鬼が島の間)は

{犬力}に連動する。

6:効果の決定

{犬力}

増えると(村と鬼が島の間)が取れる。

減ると(村と鬼が島の間)が取れない。

>

*再度話を見ると

C14では犬が関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z11では。

C14・(質問)聞く=z11

行動ポイント>障害ポイント：完了=「聞く」増加

障害ポイント>行動ポイント：出来ずに=「聞く」減少

「聞く」は{犬力}に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(質問)は

{犬力}に連動する。

6:効果の決定

{犬力}

増えると(質問)が取れる。

減ると(質問)が取れない。

>

*再度話を見ると

C15では、桃太郎

C16では、犬が関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z12では。

C15・(回答)発言=z12

C16・(要求)発言=z12

行動ポイント>障害ポイント：完了=「発言」増加

障害ポイント>行動ポイント：出来ずに=「発言」減少

「発言」は{犬力}、{桃太郎力}に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(回答)は

{桃太郎力}に連動する。

(要求)は

{犬力}に連動する。

6:効果の決定

{桃太郎力}

増えると(回答)が取れる。

減ると(回答)が取れない。

{犬力}

増えると(要求)が取れる。

減ると(要求)が取れない。

>

*再度話を見ると

C17では桃太郎が関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z13では。

C17・(譲渡)使役=z13

行動ポイント>障害ポイント：完了=「使役」増加

障害ポイント>行動ポイント：出来ずに=「使役」減少

「使役」は{桃太郎力}に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(譲渡)は

{桃太郎力}に連動する。

6:効果の決定

{桃太郎力}

増えると(譲渡)が取れる。

減ると(譲渡)が取れない。

>

*再度話を見ると

C18では、桃太郎、犬が関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z14では。

C18・(仲間との協力)敵を倒す=z14

行動ポイント>障害ポイント：完了=「敵を倒す」増加
障害ポイント>行動ポイント：出来ずに=「敵を倒す」減少

「敵を倒す」は {桃太郎一行力} に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(仲間との協力)は

{桃太郎一行力} に連動する。

6:効果の決定

{桃太郎一行力}

増えると(仲間との協力)が取れる。

減ると(仲間との協力)が取れない。

>

*再度話を見ると

W19では、おじいさんが関係します。

これにより

4:カテゴリ分け

判定が超えた時、超えられた時どのような効果があるか
各カテゴリにどのように影響があるか決めます。

z15では。

W19・(敵の財宝)村に近づく=z15

行動ポイント>障害ポイント：完了=「村に近づく」増加
障害ポイント>行動ポイント：出来ずに=「村に近づく」減少

「村に近づく」は {おじいさん力} に自由に振り分け可能。

5:カテゴリと連動の決定

(敵の財宝)は

{おじいさん力} に連動する。

6:効果の決定

{おじいさん力}

増えると(敵の財宝)が取れる。

減ると(敵の財宝)が取れない。

>

このように繰り返して決めていきます。

「桃太郎」手順8：ワールドガイドの作成

重要なのは「場所」「時期」「話の区切り」「位置」です

判定z1

C1・(歴史)位置=z1

C2,C3・(家から離れる)位置=z1

このようにワールドガイドを一つの判定にまとめることも可能です（データは少なくて済みますが比較的大雑把になります）。

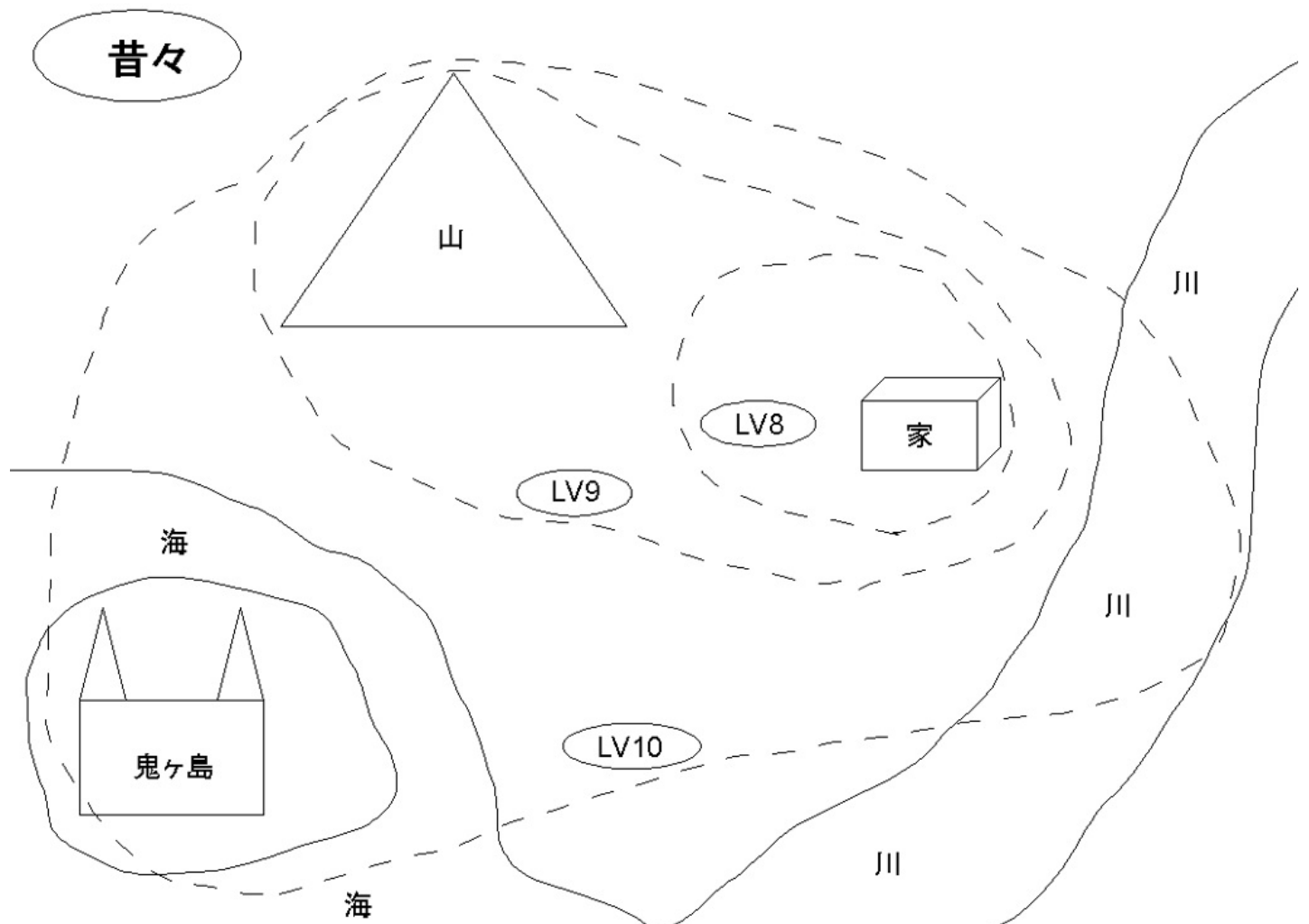
3つのワールドガイドをまとめていますね

もっと微妙な世界観を得るならワールドガイドをまとめないことも可能です（データは多くなりますが比較的繊細になります）。

今回は判定z1で、まとめます。

手順7により {村人力} となります。

ここで問題があれば、手順2まで戻ります。（※ここに文章を記入してください。）



「場所」は鬼ヶ島が出現した頃です。

「時期」は「昔々」です。

「話の区切り」は鬼ヶ島まで広がっています。

「位置」は話のLVが低ければ「家の周辺」、少し上がれば「山と川周辺」。それ以上だと「鬼ヶ島」までです。

それ以外では、このワールドガイドでは話は存在しない。

こういうことで話のブレも規制できます。

- ・このように図を作ります。

- ・今回は、大元のお話を、そのままゲームにしましたのでLV（レベル）10の所をそのまま使います（物語は高いレベルのままです）。

- ・キャラクターの強い話ということでTOPより下のレベルは構築しませんので「時期」は変わりません。

以下同様に、

C4・(作業)動作=z2

「桃太郎」手順9：障害の作成

LV10=1000

- ・ おじいさん
 - ・ 村人力 {位置} = (歴史), (家から離れる)

村人力 {誕生} = (摂取)

- ・ おじいさん力 {育成} = (不誕生)

おじいさん力 {村に近づく} = (敵の財宝)

LV10=1000

- ・ おばあさん
 - ・ 村人力 {位置} = (歴史), (家から離れる)

村人力 {誕生} = (摂取)

- ・ おばあさん力 {動作} = (作業)

おばあさん力 {家に近づく} = (食べ物)

LV10=1000

- ・ 桃太郎
 - ・ 桃太郎力 {結果} = (速い)

桃太郎力 {村から離れる} = (食べ物)

桃太郎力 {発言} = (回答)

桃太郎力 {使役} = (譲渡)

- ・ 桃太郎一行力 {敵を倒す} = (仲間との協力)

LV10=1000

- ・ 犬
 - ・ 犬力 {育成} = (不誕生)

犬力 {出現} = (村と鬼が島の間)

犬力 {聞く} = (質問)

犬力 {発言} =(要求)

・ 桃太郎一行力{敵を倒す}= (仲間との協力)

意外かもしれないが、以上が障害となる。

これをキャラクター性格で越えていく。

TOPレベルなので重なっているのです。

今までの手順で下地が出来たところで、カテゴリと連動の決定をします。
「桃太郎」手順7：判定の作成 にて記載しているが各カテゴリと効果は記載済みである。

● おじいさん

- 村人力 {位置} = (歴史), (家から離れる)

村人力 {誕生} = (摂取)

- おじいさん力 {育成} = (不誕生)

おじいさん力 {村に近づく} = (敵の財宝)

● おばあさん

- 村人力 {位置} = (歴史), (家から離れる)

村人力 {誕生} = (摂取)

- おばあさん力 {動作} = (作業)

おばあさん力 {家に近づく} = (食べ物)

● 桃太郎

- 桃太郎力 {結果} = (速い)

桃太郎力 {村から離れる} = (食べ物)

桃太郎力 {発言} = (回答)

桃太郎力 {使役} = (譲渡)

- 桃太郎一行力{敵を倒す}= (仲間との協力)

● 犬

- 犬力 {育成} = (不誕生)

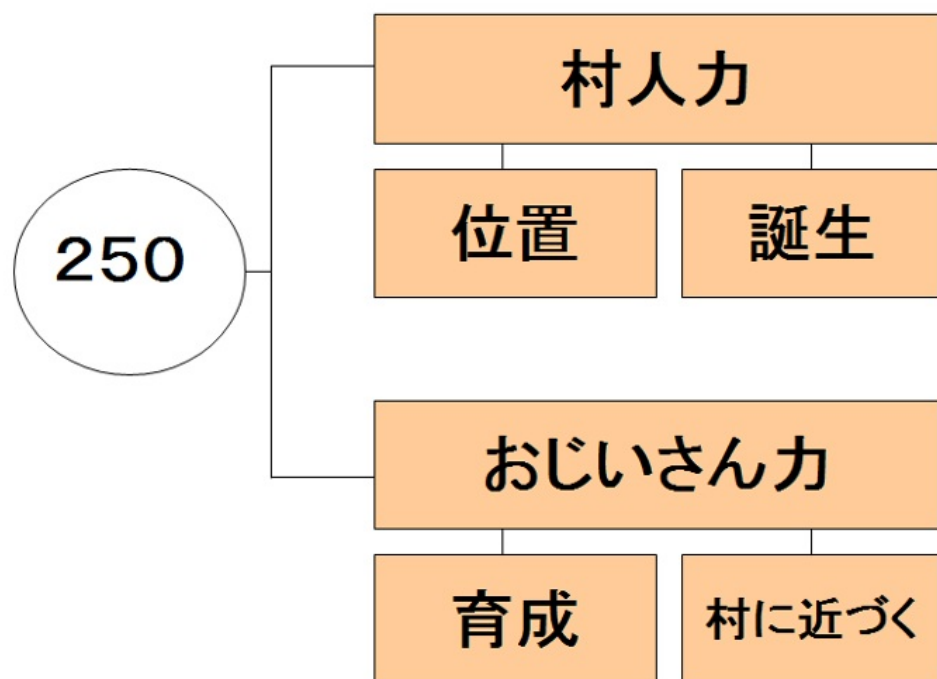
犬力 {出現} = (村と鬼が島の間)

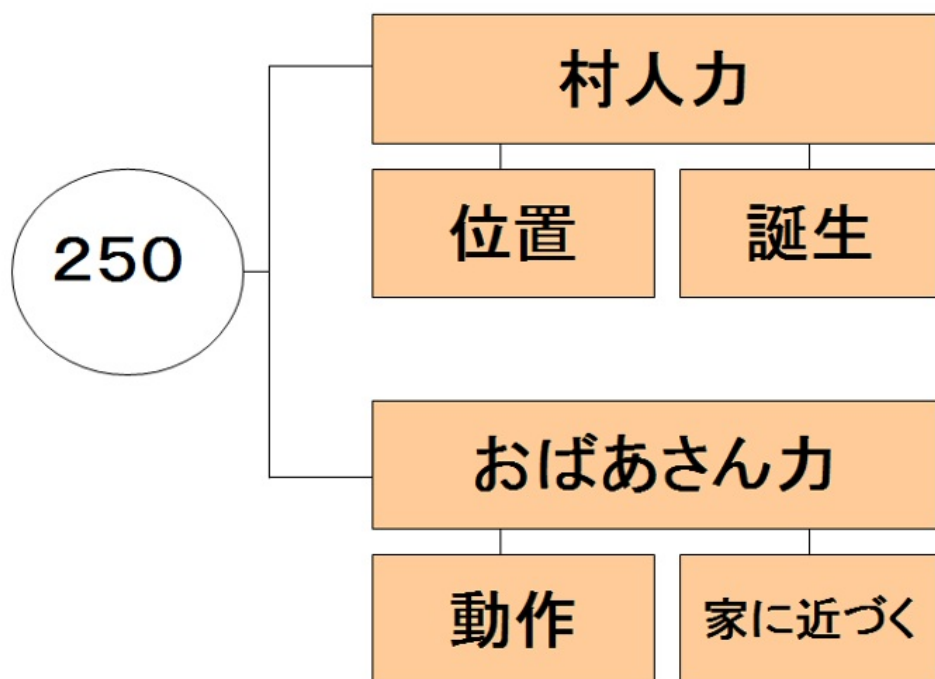
犬力 {聞く} = (質問)

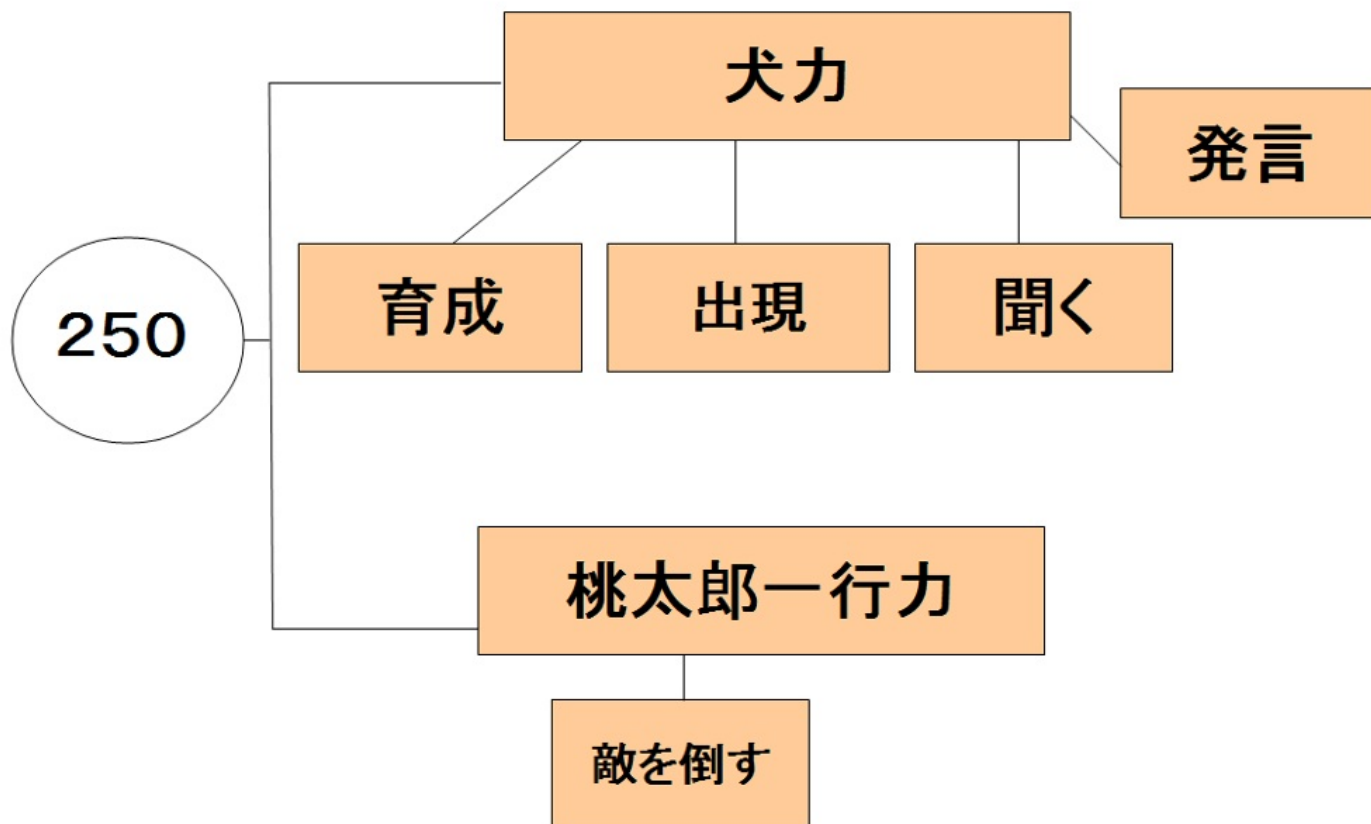
犬力 {発言} = (要求)

- 桃太郎一行力{敵を倒す}= (仲間との協力)

LV10だから1000を、それぞれ分配します。
今回は、スリルのある動きにしたかったのでLVの4分の1 LV10=1000 なら250までしか割り振りは出来ないようにしています (つまり750各キャラクターに残っている セッション終了時に戻します セッションが終了する時点までキャラクターの物語レベルは10です)。
さらにカテゴリごとに分割します。







開示されている部分のイベント表などを見ながら、どう割り振るか戦略を立てます。

一度割り振った数値はセッション終了まで変更できませんので注意して割り振ります。（セッション中にGM側が提示したイベント表：障害を受け入れた場合に得る行動ポイントはセッション中に自由に割り振って使えます）

最初は平均的に割り振る方がいいでしょう。

効果の決定を行います。

おじいさん

- {位置} = (歴史) , (家から離れる)
- {誕生} = (摂取)
- {育成} = (不誕生)
- {村に近づく} = (敵の財宝)

おばあさん

- {位置} = (歴史) , (家から離れる)
- {誕生} = (摂取)
- {動作} = (作業)
- {家に近づく} =(食べ物)

桃太郎

- {結果} = (速い)
- {村から離れる} = (食べ物)
- {発言} = (回答)
- {使役} = (譲渡)
- {敵を倒す}= (仲間との協力)

犬

- {育成} =(不誕生)
- {出現} = (村と鬼が島の間)
- {聞く} = (質問)
- {発言} =(要求)
- {敵を倒す}= (仲間との協力)

・ {位置} = (歴史) , (家から離れる)
障害となるものである（本来はアイテムなどであるがLV10であるので自分との戦い）。

障害の指針

「固有的」

<GM世界観イメージ>

<歴史>

{テーマを
固定するもの}

(テーマ)

<物語雰囲気>

<物体>

「一般的」

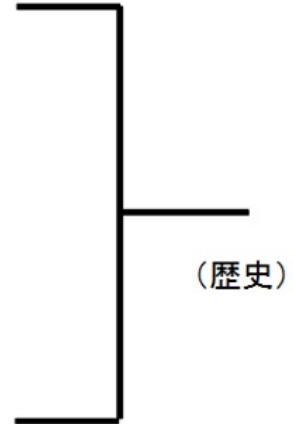
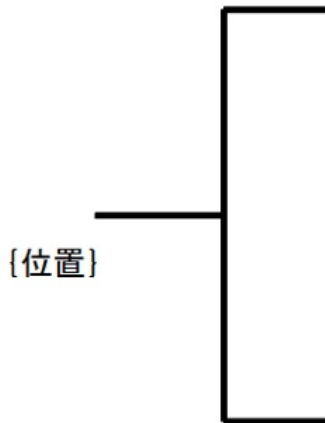
キーワードで入れ子状に作る障害。それによりどんどんアイデア湧き作れる。 日本的、中世（
固有的）

やさしい、自然物（一般的）で初期の物語分割のように作る。

「固有的」

<日本的>

<中世>



<やさしい>

<自然物>

「一般的」

GMの解釈と言える。

↓ ↑

キャラクタ性格とぶつかる。

--

・ 性格→連動→「アクションカード (S1～S5) (効果の決定) (対象) (必要部位)」>障害

効果は、越えた分だけの効果となる。その分だけ受けた方は描写シートで消費する。

対PCは通常、行動ポイント消費（傷を直す描写と直った描写 それぞれのPCが行う）。

対障害受け入れは行動ポイント増加。

対障害破壊は行動ポイント消費。

例：

・ {位置} = (歴史), (家から離れる)

この場合、(歴史), (家から離れる) でGMが障害を作ります。

上記表より：

(歴史) → (しんと雪が降る)、(風が吹く)、(良い風が吹く)

（家から離れる）→（さくざくと歩く）、（道を歩いて遠くを見る）、（フウと声を出す）

等、障害を作る。

そして障害にGMはポイントを割り振る。

GM側のポイントは1000ポイントなので、注意して割り振る。

どうしてもGMが残したい項目はポイントを高めに分ければ、プレイヤーに変更される可能性は低くなるでしょう。

（歴史）→10（しんと雪が降る）、5（風が吹く）、3（良い風が吹く）

（家から離れる）→15（さくざくと歩く）、3（道を歩いて遠くを見る）、1（フウと疲れた声を出す）

等。

これを、アクションカードで変化（S1～S5）を付けて乗り越えてもらうこととなる。

このアクションカードは、雰囲気に合わせて選択し、プレイ前に提示しておく。

世界観「桃太郎」は**GPLv2**もしくはそれ以降及び**GFDL**を採用しています

The GPLv2 (or later) from the [Free Software Foundation](#) is the license that the system software is under. Its text follows.

< sekaikan momotarou > Copyright (C) < 2006 > < kiniro roushi >

Text is available under [GNU Free Documentation License](#)

[The GNU General Public License](#)



systemはGPLv2もしくはそれ以降及びGFDLを採用しています

<世界観「桃太郎」> Copyright (C) < 2006年 > < 金色老子 >

GNU 一般公衆利用許諾契約書

バージョン2、1991年6月

日本語訳、2002年5月20日

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

この利用許諾契約書を、一字一句そのままに複製し頒布することは許可する。

しかし変更は認めない。

This is an unofficial translation of the GNU General Public License into Japanese. It was not published by the Free Software Foundation, and does not legally state the distribution terms for software that uses the GNU GPL--only the original English text of the GNU GPL does that. However, we hope that this translation will help Japanese speakers understand the GNU GPL better.

(訳: 以下はGNU General Public Licenseの非公式な日本語訳です。これはフリーソフトウェア財団(the Free Software Foundataion)によって発表されたものではなく、GNU GPLを適用したソフトウェアの頒布条件を法的に有効な形で述べたものではありません。頒布条件としてはGNU GPLの英語版テキストで指定されているもののみが有効です。しかしながら、私たちはこの翻訳が、日本語を使用する人々にとってGNU GPLをより良く理解する助けとなることを望んでいます。)

翻訳は 八田真行が行った。原文は

<http://www.gnu.org/licenses/gpl.txt>である。誤訳の指摘や改善案を歓迎する。

はじめに

ソフトウェア向けライセンスの大半は、あなたがそのソフトウェアを共有したり変更したりする自由を奪うように設計されています。対照的に、GNU 一般公衆利用許諾契約書は、あなたがフリーソフトウェアを共有したり変更したりする自由を保証する--すなわち、ソフトウェアがそのユーザすべてにとってフリーであることを保証することを目的としています。この一般公衆利用許諾契約書はフリーソフトウェア財団のソフトウェアのほとんどの適用されており、また GNU GPLを適用すると決めたフリーソフトウェア財団以外の作者によるプログラムにも適用されています(いくつかのフリーソフトウェア財団のソフトウェアには、GNU GPLではなく GNU ライブラリ一般公衆利用許諾契約書が適用されていることもあります)。あなたもまた、ご自分のプログラムに GNU GPLを適用することが可能です。

私たちがフリーソフトウェアと言うとき、それは利用の自由について言及しているのであって、価格の問題にはしていません。私たちの一般公衆利用許諾契約書は、あなたがフリーソフトウェアの複製物を頒布する自由を保証するように設計されています(希望に応じてその種のサービスに手数料を課す自由も保証されます)。また、あなたがソースコードを受け取るか、あるいは望めばそれを入力することが可能であるということ、あなたがソフトウェアを変更し、その一部を新たなフリーのプログラムで利用できるということ、そして、以上で述べたようなことができるということがあなたに知られるということも保証されます。

あなたの権利を守るため、私たちは誰かがあなたの有するこれらの権利を否定することや、これらの権利を放棄するよう要求することを禁止するという制限を加える必要があります。よって、あなたがソフトウェアの複製物を頒布したりそれを変更したりする場合には、これらの制限のためにあなたにある種の責任が発生することになります。

例えば、あなたがフリーなプログラムの複製物を頒布する場合、有料か無料に関わらず、あなたは自分が有する権利を全て受領者に与えなければなりません。また、あなたは彼らもソースコードを受け取るか手に入れることができるよう保証しなければなりません。そして、あなたは彼らに対して以下で述べる条件を示し、彼らに自らの持つ権利について知らしめるようにしなければなりません。

ん。

私たちはあなたの権利を二段階の手順を踏んで保護します。(1) まずソフトウェアに対して著作権を主張し、そして(2) あなたに対して、ソフトウェアの複製や頒布または改変についての法的な許可を与えるこの契約書を提示します。

また、各作者や私たちを保護するため、私たちはこのフリーソフトウェアには何の保証も無いということを誰もが確実に理解するようにし、またソフトウェアが誰か他人によって改変され、それが次々と頒布されていったとしても、その受領者は彼らが手に入れたソフトウェアがオリジナルのバージョンでは無いこと、そして原作者の名声は他人によって持ち込まれた可能性のある問題によって影響されることがないということを周知させたいと思います。

最後に、ソフトウェア特許がいかなるフリーのプログラムの存在にも不断の脅威を投げかけていますが、私たちは、フリーなプログラムの再頒布者が個々に特許ライセンスを取得することによって、事実上プログラムを独占的にしてしまうという危険を避けたいと思います。こういった事態を予防するため、私たちはいかなる特許も誰もが自由に利用できるようライセンスされるか、全くライセンスされないかのどちらかでなければならないことを明確にしました。

(訳注: 本契約書で「独占的(proprietary)」とは、ソフトウェアの利用や再頒布、改変が禁止されているか、許可を得ることが必要とされているか、あるいは厳しい制限が課せられていて自由にそうすることが事実上できなくなっている状態のことを指す。詳しくは

<http://www.gnu.org/philosophy/categories.ja.html#ProprietarySoftware>を参照せよ。)

複製や頒布、改変についての正確な条件と制約を以下で述べていきます。

GNU 一般公衆利用許諾契約書

複製、頒布、改変に関する条件と制約

0. この利用許諾契約書は、そのプログラム(またはその他の著作物)をこの一般公衆利用許諾契約書の定める条件の下で頒布できるという告知が著作権者によって記載されたプログラムまたはその他の著作物全般に適用される。以下では、「『プログラム』」とはそのようにしてこの契約書が適用されたプログラムや著作物全般を意味し、また「『プログラム』を基にした著作物」とは『プ

ログラム』やその他著作権法の下で派生物と見なされるもの全般を指す。すなわち、『プログラム』かその一部を、全く同一のままか、改変を加えたか、あるいは他の言語に翻訳された形で含む著作物のことである(「改変」という語の本来の意味からはずれるが、以下では翻訳も改変の一種と見なす)。それぞれの契約者は「あなた」と表現される。

複製や頒布、改変以外の活動はこの契約書ではカバーされない。それらはこの契約書の対象外である。『プログラム』を実行する行為自体に制限はない。また、そのような『プログラム』の出力結果は、その内容が『プログラム』を基にした著作物を構成する場合のみこの契約書によって保護される(『プログラム』を実行したことによって作成されたということとは無関係である)。このような線引きの妥当性は、『プログラム』が何をするのかに依存する。

1. それぞれの複製物において適切な著作権表示と保証の否認声明(disclaimer of warranty)を目立つよう適切に掲載し、またこの契約書および一切の保証の不在に触れた告知すべてをそのまま残し、そしてこの契約書の複製物を『プログラム』のいかなる受領者にも『プログラム』と共に頒布する限り、あなたは『プログラム』のソースコードの複製物を、あなたが受け取った通りの形で複製または頒布することができる。媒体は問わない。

あなたは、物理的に複製物を譲渡するという行為に関して手数料を課しても良いし、希望によっては手数料を取って交換における保護の保証を提供しても良い。

2. あなたは自分の『プログラム』の複製物かその一部を改変して『プログラム』を基にした著作物を形成し、そのような改変点や著作物を上記第1節の定める条件の下で複製または頒布することができる。ただし、そのためには以下の条件すべてを満たしていなければならない:

a) あなたがそれらのファイルを変更したということと変更した日時が良く分かるよう、改変されたファイルに告示しなければならない。

b) 『プログラム』またはその一部を含む著作物、あるいは『プログラム』かその一部から派生した著作物を頒布あるいは発表する場合には、その全体をこの契約書の条件に従って第三者へ無償で利用許諾しなければならない。

c) 改変されたプログラムが、通常実行する際に対話的にコマンドを読むようになっているならば、そのプログラムを最も一般的な方法に対話的に実行する際、適切な著作権表示、無保証であること(あるいはあなたが保証を提供するということ)、ユーザがプログラムをこの契約書で述べた条件の下で頒布することができるということ、そしてこの契約書の複製物を閲覧するにはどうしたらよいかというユーザへの説明を含む告知が印刷されるか、あるいは画面に表示されるようにしなければならない(例外として、『プログラム』そのものは対話的であっても通常そのような告知を印刷しない場合には、『プログラム』を基にしたあなたの著作物にそのような告知を印刷させる必要はない)。

以上の必要条件は全体としての改変された著作物に適用される。著作物の一部が『プログラム』から派生したものではないと確認でき、それら自身別の独立した著作物であると合理的に考えられるならば、あなたがそれらを別の著作物として分けて頒布する場合、そういった部分にはこの契約書とその条件は適用されない。しかし、あなたが同じ部分を『プログラム』を基にした著作物全体の一部として頒布するならば、全体としての頒布物は、この契約書が課す条件に従わなければならない。というのは、この契約書が他の契約者に与える許可は『プログラム』丸ごと全体に及び、誰が書いたかは関係なく各部分のすべてを保護するからである。

よって、すべてあなたによって書かれた著作物に対し、権利を主張したりあなたの権利に異議を申し立てることはこの節の意図するところではない。むしろ、その趣旨は『プログラム』を基にした派生物ないし集合著作物の頒布を管理する権利を行使するというにある。

また、『プログラム』を基にしていないその他の著作物を『プログラム』(あるいは『プログラム』を基にした著作物)と一緒に集めただけのものを一巻の保管装置ないし頒布媒体に収めても、その他の著作物までこの契約書が保護する対象になるということにはならない。

3. あなたは上記第1節および2節の条件に従い、『プログラム』(あるいは第2節における派生物)をオブジェクトコードないし実行形式で複製または頒布することができる。ただし、その場合あなたは以下のうちどれか一つを実施しなければならない:

a) 著作物に、『プログラム』に対応した完全かつ機械で読み取り可能な

ソースコードを添付する。ただし、ソースコードは上記第1節および2節の条件に従いソフトウェアの交換で習慣的に使われる媒体で頒布しなければならない。あるいは、

b) 著作物に、いかなる第三者に対しても、『プログラム』に対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを、頒布に要する物理的コストを上回らない程度の手数料と引き換えに提供する旨述べた少なくとも3年間は有効な書面になった申し出を添える。ただし、ソースコードは上記第1節および2節の条件に従いソフトウェアの交換で習慣的に使われる媒体で頒布しなければならない。あるいは、

c) 対応するソースコード頒布の申し出に際して、あなたが得た情報を一緒に引き渡す(この選択肢は、営利を目的としない頒布であって、かつあなたが上記小節bで指定されているような申し出と共にオブジェクトコードあるいは実行形式のプログラムしか入手していない場合に限り許可される)。

著作物のソースコードとは、それに対して改変を加える上で好ましいとされる著作物の形式を意味する。ある実行形式の著作物にとって完全なソースコードとは、それが含むモジュールすべてのソースコード全部に加え、関連するインターフェース定義ファイルのすべてとライブラリのコンパイルやインストールを制御するために使われるスクリプトをも加えたものを意味する。しかし特別な例外として、そのコンポーネント自体が実行形式に付随するのでは無い限り、頒布されるものの中に、実行形式が実行されるオペレーティングシステムの主要なコンポーネント(コンパイラやカーネル等)と通常一緒に(ソースかバイナリ形式のどちらかで)頒布されるものを含んでいる必要はないとする。

実行形式またはオブジェクトコードの頒布が、指定された場所からコピーするためのアクセス手段を提供することで為されるとして、その上でソースコードも同等のアクセス手段によって同じ場所からコピーできるようになっているならば、第三者がオブジェクトコードと一緒にソースも強制的にコピーさせられるようになっていなくてもソースコード頒布の条件を満たしているものとする。

4. あなたは『プログラム』を、この契約書において明確に提示された行為を除き複製や改変、サブライセンス、あるいは頒布してはならない。他に『プログラム』を複製や改変、サブライセンス、あるいは頒布する企てはすべて無効であり、この契約書の下でのあなたの権利を自動的に終結させるこ

とになる。しかし、複製物や権利をこの契約書に従ってあなたから得た人々に関しては、そのような人々がこの契約書に完全に従っている限り彼らのライセンスまで終結することはない。

5. あなたはこの契約書を受諾する必要はない。というのは、あなたはこれに署名していないからである。しかし、この契約書以外にあなたに対して『プログラム』やその派生物を変更、頒布する許可を与えるものは存在しない。これらの行為は、あなたがこの契約書を受け入れない限り法によって禁じられている。そこで、『プログラム』(あるいは『プログラム』を基にした著作物のすべて)を改変ないし頒布することにより、あなたは自分がそのような行為を行うためにこの契約書を受諾したということ、そして『プログラム』とそれに基づく著作物の複製や頒布、改変についてこの契約書が課す制約と条件をすべて受け入れたということを示したものと見なす。

6. あなたが『プログラム』(または『プログラム』を基にした著作物全般)を再頒布するたびに、その受領者は元々のライセンス許可者から、この契約書で指定された条件と制約の下で『プログラム』を複製や頒布、あるいは改変する許可を自動的に得るものとする。あなたは、受領者がここで認められた権利を行使することに関してこれ以上他のいかなる制限も課すことができない。あなたには、第三者がこの契約書に従うことを強制する責任はない。

7. 特許侵害あるいはその他の理由(特許関係に限らない)から、裁判所の判決あるいは申し立ての結果としてあなたに(裁判所命令や契約などにより)この契約書の条件と矛盾する制約が課された場合でも、あなたがこの契約書の条件を免除されるわけではない。もしこの契約書の下であなたに課せられた責任と他の関連する責任を同時に満たすような形で頒布できないならば、結果としてあなたは『プログラム』を頒布することが全くできないということである。例えば特許ライセンスが、あなたから直接間接を問わずコピーを受け取った人が誰でも『プログラム』を使用料無料で再頒布することを認めていない場合、あなたがその制約とこの契約書を両方とも満たすには『プログラム』の頒布を完全に中止するしかないだろう。

この節の一部分が特定の状況の下で無効ないし実施不可能な場合でも、節の残りの部分は適用されるよう意図されている。その他の状況では節が全体として適用されるよう意図されている。

特許やその他の財産権を侵害したり、そのような権利の主張の効力に異議を唱

えたりするようあなたを誘惑することがこの節の目的ではない。この節には、人々によってライセンス慣行として実現されてきた、フリーソフトウェア頒布のシステムの完全性を護るという目的しかない。多くの人々が、フリーソフトウェアの頒布システムが首尾一貫して適用されているという信頼に基づき、このシステムを通じて頒布される多様なソフトウェアに寛大な貢献をしてきたのは事実であるが、人がどのようなシステムを通じてソフトウェアを頒布したいと思うかはあくまでも作者/寄与者次第であり、あなたが選択を押しつけることはできない。

この節は、この契約書のこの節以外の部分の一帰結になると考えられるケースを徹底的に明らかにすることを目的としている。

8. 『プログラム』の頒布や利用が、ある国においては特許または著作権が主張されたインターフェースのいずれかによって制限されている場合、『プログラム』にこの契約書を適用した元の著作権者は、そういった国々を排除した明確な地理的頒布制限を加え、そこで排除されていない国の中やそれらの国々の間でのみ頒布が許可されるようにしても構わない。その場合、そのような制限はこの契約書本文で書かれているのと同様に見なされる。

9. フリーソフトウェア財団は、時によって改訂または新版の一般公衆利用許諾書を発表することができる。そのような新版は現在のバージョンとその精神においては似たものになるだろうが、新たな問題や懸念を解決するため細部では異なる可能性がある。

それぞれのバージョンには、見分けが付くようにバージョン番号が振られている。『プログラム』においてそれに適用されるこの契約書のバージョン番号が指定されていて、更に「それ以降のいかなるバージョン」も適用して良いとなっていた場合、あなたは従う条件と制約として、指定のバージョンか、フリーソフトウェア財団によって発行された指定のバージョン以降の版のどれか一つのどちらかを選ぶことが出来る。『プログラム』でライセンスのバージョン番号が指定されていないならば、あなたは今までにフリーソフトウェア財団から発行されたバージョンの中から好きに選んで構わない。

10. もしあなたが『プログラム』の一部を、その頒布条件がこの契約書と異なる他のフリーなプログラムと統合したいならば、作者に連絡して許可を求めよ。フリーソフトウェア財団が著作権を保有するソフトウェアについては、フリーソフトウェア財団に連絡せよ。私たちは、このような場合のために特別

な例外を設けることもある。私たちが決定を下すにあたっては、私たちのフリーソフトウェアの派生物すべてがフリーな状態に保たれるということと、一般的にソフトウェアの共有と再利用を促進するという二つの目標を規準に検討されるであろう。

無保証について

11. 『プログラム』は代価無しに利用が許可されるので、適切な法が認める限りにおいて、『プログラム』に関するいかなる保証も存在しない。書面で別に述べる場合を除いて、著作権者、またはその他の団体は、『プログラム』を、表明されたか言外にかは問わず、商業的適性を保証するほのめかしやある特定の目的への適合性(に限られない)を含む一切の保証無しに「あるがまま」で提供する。『プログラム』の質と性能に関するリスクのすべてはあなたに帰属する。『プログラム』に欠陥があると判明した場合、あなたは必要な保守点検や補修、修正に要するコストのすべてを引き受けることになる。

12. 適切な法が書面での同意によって命ぜられない限り、著作権者、または上記で許可されている通りに『プログラム』を改変または再頒布したその他の団体は、あなたに対して『プログラム』の利用ないし利用不能で生じた一般的、特別的、偶然的、必然的な損害(データの消失や不正確な処理、あなたか第三者が被った損失、あるいは『プログラム』が他のソフトウェアと一緒に動作しないという不具合などを含むがそれらに限らない)に一切の責任を負わない。そのような損害が生ずる可能性について彼らが忠告されていたとしても同様である。

条件と制約終わり

以上の条項をあなたの新しいプログラムに適用する方法

あなたが新しいプログラムを開発したとして、公衆によってそれが利用される可能性を最大にしたいなら、そのプログラムをこの契約書の条項に従って誰でも再頒布あるいは変更できるようフリーソフトウェアにするのが最善です。

そのためには、プログラムに以下のような表示を添付してください。その場合、保証が排除されているということを最も効果的に伝えるために、それぞれのソースファイルの冒頭に表示を添付すれば最も安全です。少なくとも、「著作権表示」という行と全文がある場所へのポインタだけは各ファイルに含めて置いてください。

Copyright (C)

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

(訳:

<プログラムの名前と、それが何をするかについての簡単な説明。>

Copyright (C) <西暦年> <作者の名前>

このプログラムはフリーソフトウェアです。あなたはこれを、フリーソフトウェア財団によって発行された GNU 一般公衆利用許諾契約書(バージョン2か、希望によってはそれ以降のバージョンのうちどれか)の定める条件の下で再頒布または改変することができます。

このプログラムは有用であることを願って頒布されますが、*全くの無保証* です。商業可能性の保証や特定の目的への適合性は、言外に示されたものも含め全く存在しません。詳しくはGNU 一般公衆利用許諾契約書をご覧ください。

あなたはこのプログラムと共に、GNU 一般公衆利用許諾契約書の複製物を一部受け取ったはずです。もし受け取っていなければ、フリーソフトウェア財団まで請求してください(宛先は the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA)。

)

電子ないし紙のメールであなたに問い合わせる方法についての情報も書き加えましょう。

プログラムが対話的なものならば、対話モードで起動した際に出力として以下のような短い告知が表示されるようにしてください:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.
```

(訳:

Gnomovision バージョン 69, Copyright (C) 年 作者の名前
Gnomovision は*全くの無保証*で提供されます。詳しくは「show w」
とタイプして下さい。これはフリーソフトウェアであり、ある条件の下で
再頒布することが奨励されています。詳しくは「show c」とタイプして下
さい。

)

ここで、仮想的なコマンド「show w」と「show c」は一般公衆利用許諾契約書の適切な部分を表示するようになっていなければなりません。もちろん、あなたが使うコマンドを「show w」や「show c」と呼ぶ必然性はありませんので、あなたのプログラムに合わせてマウスのクリックやメニューのアイテムにしても結構です。

またあなたは、必要ならば(プログラマーとして働いていたら)あなたの雇用主、あるいは場合によっては学校から、そのプログラムに関する「著作権放棄声明 (copyright disclaimer)」に署名してもらうべきです。以下は例ですので、名前を変えてください:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
```

, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

(訳:

Yoyodyne社はここに、James Hackerによって書かれたプログラム

「Gnomovision」(コンパイラへ通すプログラム)に関する一切の著作権の利益を放棄します。

、1989年4月1日

Ty Coon、副社長

)

この一般公衆利用許諾契約書では、あなたのプログラムを独占的なプログラムに統合することを認めていません。あなたのプログラムがサブルーチンライブラリならば、独占的なアプリケーションとあなたのライブラリをリンクすることを許可したほうがより便利であると考えられるかもしれません。もしこれがあなたの望むことならば、この契約書の代わりにGNU ライブラリ一般公衆利用許諾契約書を適用してください。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Copyright © 2007 Free Software Foundation, Inc.

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.

The licenses for most software and other practical works are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps: (1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify

it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS

0. Definitions.

“This License” refers to version 3 of the GNU General Public License.

“Copyright” also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

“The Program” refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as “you”. “Licensees” and “recipients” may be individuals or organizations.

To “modify” a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a “modified version” of the earlier work or a work “based on” the earlier work.

A “covered work” means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To “propagate” a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To “convey” a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.

An interactive user interface displays “Appropriate Legal Notices” to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

1. Source Code.

The “source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. “Object code” means any non-source form of a work.

A “Standard Interface” means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.

The “System Libraries” of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A “Major Component”, in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The “Corresponding Source” for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work’s System Libraries, or

general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

2. Basic Permissions.

All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this

License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.
- b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to "keep intact all notices".
- c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.
- d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an "aggregate" if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

6. Conveying Non-Source Forms.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

- a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.
- b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.
- c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.
- d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.
- e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A “User Product” is either (1) a “consumer product”, which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user,

“normally used” refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

“Installation Information” for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

7. Additional Terms.

“Additional permissions” are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License

without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

- a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or
- b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or
- c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or
- d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or
- e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or
- f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered “further restrictions” within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.

8. Termination.

You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

9. Acceptance Not Required for Having Copies.

You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.

Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An “entity transaction” is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the

work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

11. Patents.

A “contributor” is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's “contributor version”.

A contributor's “essential patent claims” are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, “control” includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a “patent license” is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To “grant” such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. “Knowingly

relying” means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is “discriminatory” if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

12. No Surrender of Others' Freedom.

If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

13. Use with the GNU Affero General Public License.

Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to

apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.

14. Revised Versions of this License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License “or any later version” applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

15. Disclaimer of Warranty.

THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. Limitation of Liability.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS

THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

17. Interpretation of Sections 15 and 16.

If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively state the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

Copyright (C)

This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see .

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program does terminal interaction, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
< program > Copyright (C) < year > < name of author >
```

This program comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.

This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, your program's commands might be different; for a GUI interface, you would use an “about box”.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the program, if necessary. For more information on this, and how to apply and follow the GNU GPL, see .

The GNU General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License. But first, please read .

GNU Free Documentation License

GNU Free Documentation License

Version 1.3, 3 November 2008

Copyright © 2000, 2001, 2002, 2007, 2008 Free Software Foundation, Inc.

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

0. PREAMBLE

The purpose of this License is to make a manual, textbook, or other functional and useful document "free" in the sense of freedom: to assure everyone the effective freedom to copy and redistribute it, with or without modifying it, either commercially or noncommercially. Secondly, this License preserves for the author and publisher a way to get credit for their work, while not being considered responsible for modifications made by others.

This License is a kind of "copyleft", which means that derivative works of the document must themselves be free in the same sense. It complements the GNU General Public License, which is a copyleft license designed for free software.

We have designed this License in order to use it for manuals for free software, because free software needs free documentation: a free program should come with manuals providing the same freedoms that the software does. But this License is not limited to software manuals; it can be used for any textual work, regardless of subject matter or whether it is published as a printed book. We recommend this License principally for works whose purpose is instruction or reference.

1. APPLICABILITY AND DEFINITIONS

This License applies to any manual or other work, in any medium, that contains a notice placed by the copyright holder saying it can be distributed under the terms of this License. Such a notice grants a world-wide, royalty-free license, unlimited in duration, to use that work under the conditions stated herein. The "Document", below, refers to any such manual or work. Any member of the public is a licensee, and is addressed as "you". You accept the license if you copy, modify or distribute the work in a way requiring permission under copyright law.

A "Modified Version" of the Document means any work containing the Document or a portion of it,

either copied verbatim, or with modifications and/or translated into another language.

A "Secondary Section" is a named appendix or a front-matter section of the Document that deals exclusively with the relationship of the publishers or authors of the Document to the Document's overall subject (or to related matters) and contains nothing that could fall directly within that overall subject. (Thus, if the Document is in part a textbook of mathematics, a Secondary Section may not explain any mathematics.) The relationship could be a matter of historical connection with the subject or with related matters, or of legal, commercial, philosophical, ethical or political position regarding them.

The "Invariant Sections" are certain Secondary Sections whose titles are designated, as being those of Invariant Sections, in the notice that says that the Document is released under this License. If a section does not fit the above definition of Secondary then it is not allowed to be designated as Invariant. The Document may contain zero Invariant Sections. If the Document does not identify any Invariant Sections then there are none.

The "Cover Texts" are certain short passages of text that are listed, as Front-Cover Texts or Back-Cover Texts, in the notice that says that the Document is released under this License. A Front-Cover Text may be at most 5 words, and a Back-Cover Text may be at most 25 words.

A "Transparent" copy of the Document means a machine-readable copy, represented in a format whose specification is available to the general public, that is suitable for revising the document straightforwardly with generic text editors or (for images composed of pixels) generic paint programs or (for drawings) some widely available drawing editor, and that is suitable for input to text formatters or for automatic translation to a variety of formats suitable for input to text formatters. A copy made in an otherwise Transparent file format whose markup, or absence of markup, has been arranged to thwart or discourage subsequent modification by readers is not Transparent. An image format is not Transparent if used for any substantial amount of text. A copy that is not "Transparent" is called "Opaque".

Examples of suitable formats for Transparent copies include plain ASCII without markup, Texinfo input format, LaTeX input format, SGML or XML using a publicly available DTD, and standard-conforming simple HTML, PostScript or PDF designed for human modification. Examples of transparent image formats include PNG, XCF and JPG. Opaque formats include proprietary formats that can be read and edited only by proprietary word processors, SGML or XML for which the DTD and/or processing tools are not generally available, and the machine-generated HTML, PostScript or PDF produced by some word processors for output purposes only.

The "Title Page" means, for a printed book, the title page itself, plus such following pages as are needed to hold, legibly, the material this License requires to appear in the title page. For works in formats which do not have any title page as such, "Title Page" means the text near the most prominent appearance of the work's title, preceding the beginning of the body of the text.

The "publisher" means any person or entity that distributes copies of the Document to the public.

A section "Entitled XYZ" means a named subunit of the Document whose title either is precisely XYZ or contains XYZ in parentheses following text that translates XYZ in another language. (Here XYZ stands for a specific section name mentioned below, such as "Acknowledgements", "Dedications", "Endorsements", or "History".) To "Preserve the Title" of such a section when you modify the Document means that it remains a section "Entitled XYZ" according to this definition.

The Document may include Warranty Disclaimers next to the notice which states that this License applies to the Document. These Warranty Disclaimers are considered to be included by reference in this License, but only as regards disclaiming warranties: any other implication that these Warranty Disclaimers may have is void and has no effect on the meaning of this License.

2. VERBATIM COPYING

You may copy and distribute the Document in any medium, either commercially or noncommercially, provided that this License, the copyright notices, and the license notice saying this License applies to the Document are reproduced in all copies, and that you add no other conditions whatsoever to those of this License. You may not use technical measures to obstruct or control the reading or further copying of the copies you make or distribute. However, you may accept compensation in exchange for copies. If you distribute a large enough number of copies you must also follow the conditions in section 3.

You may also lend copies, under the same conditions stated above, and you may publicly display copies.

3. COPYING IN QUANTITY

If you publish printed copies (or copies in media that commonly have printed covers) of the Document, numbering more than 100, and the Document's license notice requires Cover Texts, you must enclose the copies in covers that carry, clearly and legibly, all these Cover Texts: Front-Cover Texts on the front cover, and Back-Cover Texts on the back cover. Both covers must also clearly and legibly identify you as the publisher of these copies. The front cover must present the full title

with all words of the title equally prominent and visible. You may add other material on the covers in addition. Copying with changes limited to the covers, as long as they preserve the title of the Document and satisfy these conditions, can be treated as verbatim copying in other respects.

If the required texts for either cover are too voluminous to fit legibly, you should put the first ones listed (as many as fit reasonably) on the actual cover, and continue the rest onto adjacent pages.

If you publish or distribute Opaque copies of the Document numbering more than 100, you must either include a machine-readable Transparent copy along with each Opaque copy, or state in or with each Opaque copy a computer-network location from which the general network-using public has access to download using public-standard network protocols a complete Transparent copy of the Document, free of added material. If you use the latter option, you must take reasonably prudent steps, when you begin distribution of Opaque copies in quantity, to ensure that this Transparent copy will remain thus accessible at the stated location until at least one year after the last time you distribute an Opaque copy (directly or through your agents or retailers) of that edition to the public.

It is requested, but not required, that you contact the authors of the Document well before redistributing any large number of copies, to give them a chance to provide you with an updated version of the Document.

4. MODIFICATIONS

You may copy and distribute a Modified Version of the Document under the conditions of sections 2 and 3 above, provided that you release the Modified Version under precisely this License, with the Modified Version filling the role of the Document, thus licensing distribution and modification of the Modified Version to whoever possesses a copy of it. In addition, you must do these things in the Modified Version:

- A. Use in the Title Page (and on the covers, if any) a title distinct from that of the Document, and from those of previous versions (which should, if there were any, be listed in the History section of the Document). You may use the same title as a previous version if the original publisher of that version gives permission.
- B. List on the Title Page, as authors, one or more persons or entities responsible for authorship of the modifications in the Modified Version, together with at least five of the principal authors of the Document (all of its principal authors, if it has fewer than five), unless they release you from this requirement.
- C. State on the Title page the name of the publisher of the Modified Version, as the publisher.
- D. Preserve all the copyright notices of the Document.
- E. Add an appropriate copyright notice for your modifications adjacent to the other copyright notices.

- F. Include, immediately after the copyright notices, a license notice giving the public permission to use the Modified Version under the terms of this License, in the form shown in the Addendum below.
- G. Preserve in that license notice the full lists of Invariant Sections and required Cover Texts given in the Document's license notice.
- H. Include an unaltered copy of this License.
- I. Preserve the section Entitled "History", Preserve its Title, and add to it an item stating at least the title, year, new authors, and publisher of the Modified Version as given on the Title Page. If there is no section Entitled "History" in the Document, create one stating the title, year, authors, and publisher of the Document as given on its Title Page, then add an item describing the Modified Version as stated in the previous sentence.
- J. Preserve the network location, if any, given in the Document for public access to a Transparent copy of the Document, and likewise the network locations given in the Document for previous versions it was based on. These may be placed in the "History" section. You may omit a network location for a work that was published at least four years before the Document itself, or if the original publisher of the version it refers to gives permission.
- K. For any section Entitled "Acknowledgements" or "Dedications", Preserve the Title of the section, and preserve in the section all the substance and tone of each of the contributor acknowledgements and/or dedications given therein.
- L. Preserve all the Invariant Sections of the Document, unaltered in their text and in their titles. Section numbers or the equivalent are not considered part of the section titles.
- M. Delete any section Entitled "Endorsements". Such a section may not be included in the Modified Version.
- N. Do not retitle any existing section to be Entitled "Endorsements" or to conflict in title with any Invariant Section.
- O. Preserve any Warranty Disclaimers.

If the Modified Version includes new front-matter sections or appendices that qualify as Secondary Sections and contain no material copied from the Document, you may at your option designate some or all of these sections as invariant. To do this, add their titles to the list of Invariant Sections in the Modified Version's license notice. These titles must be distinct from any other section titles.

You may add a section Entitled "Endorsements", provided it contains nothing but endorsements of your Modified Version by various parties—for example, statements of peer review or that the text has been approved by an organization as the authoritative definition of a standard.

You may add a passage of up to five words as a Front-Cover Text, and a passage of up to 25 words

as a Back-Cover Text, to the end of the list of Cover Texts in the Modified Version. Only one passage of Front-Cover Text and one of Back-Cover Text may be added by (or through arrangements made by) any one entity. If the Document already includes a cover text for the same cover, previously added by you or by arrangement made by the same entity you are acting on behalf of, you may not add another; but you may replace the old one, on explicit permission from the previous publisher that added the old one.

The author(s) and publisher(s) of the Document do not by this License give permission to use their names for publicity for or to assert or imply endorsement of any Modified Version.

5. COMBINING DOCUMENTS

You may combine the Document with other documents released under this License, under the terms defined in section 4 above for modified versions, provided that you include in the combination all of the Invariant Sections of all of the original documents, unmodified, and list them all as Invariant Sections of your combined work in its license notice, and that you preserve all their Warranty Disclaimers.

The combined work need only contain one copy of this License, and multiple identical Invariant Sections may be replaced with a single copy. If there are multiple Invariant Sections with the same name but different contents, make the title of each such section unique by adding at the end of it, in parentheses, the name of the original author or publisher of that section if known, or else a unique number. Make the same adjustment to the section titles in the list of Invariant Sections in the license notice of the combined work.

In the combination, you must combine any sections Entitled "History" in the various original documents, forming one section Entitled "History"; likewise combine any sections Entitled "Acknowledgements", and any sections Entitled "Dedications". You must delete all sections Entitled "Endorsements".

6. COLLECTIONS OF DOCUMENTS

You may make a collection consisting of the Document and other documents released under this License, and replace the individual copies of this License in the various documents with a single copy that is included in the collection, provided that you follow the rules of this License for verbatim copying of each of the documents in all other respects.

You may extract a single document from such a collection, and distribute it individually under this License, provided you insert a copy of this License into the extracted document, and follow this

License in all other respects regarding verbatim copying of that document.

7. AGGREGATION WITH INDEPENDENT WORKS

A compilation of the Document or its derivatives with other separate and independent documents or works, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an "aggregate" if the copyright resulting from the compilation is not used to limit the legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. When the Document is included in an aggregate, this License does not apply to the other works in the aggregate which are not themselves derivative works of the Document.

If the Cover Text requirement of section 3 is applicable to these copies of the Document, then if the Document is less than one half of the entire aggregate, the Document's Cover Texts may be placed on covers that bracket the Document within the aggregate, or the electronic equivalent of covers if the Document is in electronic form. Otherwise they must appear on printed covers that bracket the whole aggregate.

8. TRANSLATION

Translation is considered a kind of modification, so you may distribute translations of the Document under the terms of section 4. Replacing Invariant Sections with translations requires special permission from their copyright holders, but you may include translations of some or all Invariant Sections in addition to the original versions of these Invariant Sections. You may include a translation of this License, and all the license notices in the Document, and any Warranty Disclaimers, provided that you also include the original English version of this License and the original versions of those notices and disclaimers. In case of a disagreement between the translation and the original version of this License or a notice or disclaimer, the original version will prevail.

If a section in the Document is Entitled "Acknowledgements", "Dedications", or "History", the requirement (section 4) to Preserve its Title (section 1) will typically require changing the actual title.

9. TERMINATION

You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Document except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, or distribute it is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally

terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, receipt of a copy of some or all of the same material does not give you any rights to use it.

10. FUTURE REVISIONS OF THIS LICENSE

The Free Software Foundation may publish new, revised versions of the GNU Free Documentation License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. See <http://www.gnu.org/copyleft/>.

Each version of the License is given a distinguishing version number. If the Document specifies that a particular numbered version of this License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that specified version or of any later version that has been published (not as a draft) by the Free Software Foundation. If the Document does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published (not as a draft) by the Free Software Foundation. If the Document specifies that a proxy can decide which future versions of this License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Document.

11. RELICENSING

"Massive Multiauthor Collaboration Site" (or "MMC Site") means any World Wide Web server that publishes copyrightable works and also provides prominent facilities for anybody to edit those works. A public wiki that anybody can edit is an example of such a server. A "Massive Multiauthor Collaboration" (or "MMC") contained in the site means any set of copyrightable works thus published on the MMC site.

"CC-BY-SA" means the Creative Commons Attribution-Share Alike 3.0 license published by Creative Commons Corporation, a not-for-profit corporation with a principal place of business in San Francisco, California, as well as future copyleft versions of that license published by that same

organization.

"Incorporate" means to publish or republish a Document, in whole or in part, as part of another Document.

An MMC is "eligible for relicensing" if it is licensed under this License, and if all works that were first published under this License somewhere other than this MMC, and subsequently incorporated in whole or in part into the MMC, (1) had no cover texts or invariant sections, and (2) were thus incorporated prior to November 1, 2008.

The operator of an MMC Site may republish an MMC contained in the site under CC-BY-SA on the same site at any time before August 1, 2009, provided the MMC is eligible for relicensing.

ADDENDUM: How to use this License for your documents

To use this License in a document you have written, include a copy of the License in the document and put the following copyright and license notices just after the title page:

Copyright (C) YEAR YOUR NAME.

Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.3 or any later version published by the Free Software Foundation; with no Invariant Sections, no Front-Cover Texts, and no Back-Cover Texts.

A copy of the license is included in the section entitled "GNU Free Documentation License".

If you have Invariant Sections, Front-Cover Texts and Back-Cover Texts, replace the "with ... Texts." line with this:

with the Invariant Sections being LIST THEIR TITLES, with the Front-Cover Texts being LIST, and with the Back-Cover Texts being LIST.

If you have Invariant Sections without Cover Texts, or some other combination of the three, merge those two alternatives to suit the situation.

If your document contains nontrivial examples of program code, we recommend releasing these examples in parallel under your choice of free software license, such as the GNU General Public License, to permit their use in free software.